

まつぼっくり

学校教育目標

こころ豊かにたくましく
生きる力を育てる

めざす児童像

- ・はっきり話し、自ら学ぶ子
- ・まっすぐな心で、助け合う子
- ・こころも体も元気な子

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年度、4月18日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数(数学)」の学習状況、および児童・生徒の学校や家庭での生活実態について、調査が実施されました。

本校児童の調査結果が届きましたので、現状を分析し、まとめました。以下のとおり、保護者の皆様方にお知らせいたします。



学力調査では、国語・算数について実施されました。教科ごとの本校児童の現況と課題については、下記のとおり分析しました。

国語

☆概ね力がついていること

オンラインで交流する場面において、「和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する」問題については、全国・兵庫県平均を上回っている。資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができているようである。

☆これから力をつけていきたいこと

「原さんが物語の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する」問題において、人物像を具体的に想像することを苦手としているようである。今後は、授業やモジュール学習を通して、より多くの文章に触られるように、作文、視写、読み取りの学習に重点をおいて取り組んでいきたい。



算数

☆概ね力がついていること

「円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ」問題については、全国・兵庫県平均を上回っており、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解ができているといえる。

☆これから力をつけていきたいこと

「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く」問題では、道のりが等しい場合の速さについて、公式の定着と共に、応用問題における「思考力・判断力・表現力」の育成に力を入れていきたい。



生活実態調査は、「児童質問紙」として全63項目の質問によって実施されました。本校児童の現状と今後の課題については、下記のとおり分析しました。

児童質問紙

『大切なあなたは大丈夫です！自信をもって踏みだしていこう』

- ・朝食を食べている児童の割合は兵庫県・全国の平均よりやや低かった。学級担任と食育担当、栄養教諭が連携して計画的に進めている食育の取組を、いっそう推進していきたい。
- ・「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」については、「とてもそう思う・そう思う」が95.8%と兵庫県平均よりも4.7%、全国平均よりも3.7%高い。自分のペースで学習を進めることには役立っている。今後は、明確な目標設定により、有効な力となるよう繋げていきたい。
- ・「学校に行くのは楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した児童が89.6%で、兵庫県平均より6%、全国平均より5%高かった。その一方で、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が10.4%いる。児童の様子に常に気を配り、小さなサインも見逃さないようにより努めていきたい。
- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童は約84.4%で、兵庫県平均より0.9%、全国平均より0.3%上回っているなど、自己肯定感が高い。しかし、「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童が93.8%で兵庫県平均より2.5%、全国平均より2.1%下回っていた。これは、自己有用感が低い傾向にあると考えられる。「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童が95.9%と兵庫県・全国平均より高かった。よって、今後も一層教師と児童、児童同士の深い関わりと、様々な体験活動を通して、他者を認める心を育て、かつ自己有用感を高めさせていきたい。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した児童の割合は96.9%で、兵庫県・全国平均よりやや高かった。いじめ防止に向けた児童会活動を主体とする全校的な取組について、さらに強化していきたい。
- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対しては、「3時間以上・2時間以上」が22.9%と兵庫県・全国平均より低かった。また、休日の学習時間についても、「1時間以上」が本校は20.8%で、兵庫県平均より3%、全国平均より6.3%低い。また、「1時間より少ない」「全くしない」と回答した児童が64.6%兵庫県平均より10.5%、全国平均より13.3%高く、家庭での学習習慣の定着に向けては、さらなる取組の工夫が必要である。
- ・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は81.2%で、兵庫県・全国平均より約1%低かった。今後も小さな目標をくり返し持たせることで達成感、自己肯定感を味わえるよう、支援していきたい。

家庭における安心が基本です。できることに目をむけて、時間をかけて見守りを。

今後も、「読み取る力」や「書く力」の育成に向け、ご家庭との連携を図りながら指導していきたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。